

平成 22 年 5 月 10 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007 年度～2010 年度
 課題番号：19520037
 研究課題名（和文）幸福の普遍性と共同善の超越性—トマス・アクィナスにおける人間論の展開
 研究課題名（英文）The Universality of Happiness and the Transcendence of Common Good
 —On the Deployment of the human theory in Thomas Aquinas—
 研究代表者 佐々木 亘
 (SASAKI WATARU)
 鹿児島純心女子短期大学・生活学科・教授
 研究者番号：40211940

研究代表者の専門分野：哲学・経済学

科研費の分科・細目：2801

キーワード：究極目的，共同善，共同体論，所有権論，他者，人間の超越性，自由の普遍性，正義の超越性

1. 研究計画の概要

(1) トマスの人間論を探求するためには、どうしても共同体の運動を人間論の展望として解明する必要がある。これは、共同体との関係において、個としての人間を位置づけ、個と共同体のあり方を自由と正義の関係から解明する研究である。

(2) いかに優れた研究であるとしても、日本における文献学的な研究が海外で評価される機会はかなり限定的であるように思われる。そこで、拙著『トマス・アクィナスの人間論—個としての人間の超越性—』を全面的に英訳した、*Aquinas on the Human Being —The Transcendence of the Human Being as Person—* の出版を目指す。

(3) これまでの研究から、次に人間の「幸福」やそのあり方が問題とされる。そこで、人間の幸福が有する「普遍性」を、人間の「個人的超越性」、および、全体としての共同体に由来する「共同善の超越性」という、二つの「超越性」の間に位置づけることは、哲学と経済学だけではなく、そこに神学をも加わった、極めて学際的な研究によって可能になる

2. 研究の進捗状況

(1) 第一の「共同体論研究」に関しては、2008 年 10 月に神戸大学からの博士（経済学）の学位取得と、『共同体と共同善—トマス・アクィナスの共同体論研究—』（知泉書館）の出版に結実することができた。

(2) 鹿児島純心女子短期大学英語科専任講師である Glenn Forbes から、全面的な協力を受けて進められているが、まだ完成には至っていない。

(3) 幸福論研究は、「目に見えない共同体—トマス・アクィナスにおける幸福論研究—」という博士論文として進められている。

3. 現在までの達成度

(1) 当初の計画以上に進展している。

（理由）

2008 年 10 月に、神戸大学博士（経済学）の学位取得と、拙著『共同体と共同善—トマス・アクィナスの共同体論研究—』の出版が実現した。京都大学での文学博士号の授与とそれに基づく最初の拙著の出版から、実質的に 3 年ほどで到達することができたことは驚異的であると思われる。

(2) やや遅れている。

（理由）

英訳の作業は、経済学の学位取得以降にと考えていたが、経済危機における人間阻害の実態を目の当たりにして、経済主体としての人間の尊厳を明確に提示する研究を緊急に優先させたため、博士論文の英訳に若干の遅れが生じている。

(3) おおむね順調に進展している。

（理由）

(2) の英訳と同時進行で展開する予定であったが、神戸大学での学位論文の中心テーマであった「共同善の超越性」を「目に見えない共同体」という観点から再構築するべく、研究を進めている。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 自然法と正義に関する研究を発展させ、人間の超越性と共同体の普遍性をより現実的に調和させる理論の構築を目指す。この点

は、現代の社会において、喫緊な課題であるように思われる。

(2) 英訳に関しては、極力 2010 年度内に完成できるよう努力する。

(3) この三番目の博士論文を 2010 年度内に完成させることは物理的に不可能と思われるが、なるべく完成に近づきたい。南山大学キリスト教学科の江川憲教授より具体的な要請を受けており、南山大学に提出予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 6 件)

- ① 佐々木亘, 「自然法と共同体—トマス・アクィナスにおける自然法の可能性について—」、『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第 38 号、査読無、2008 年 1 月、pp. 1-18.
- ② 佐々木亘, 佐々木恵子, 「正義における美の秩序—トマス・アクィナスにおける正義の美的可能性について—」、『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第 38 号、査読無、2008 年 1 月、pp. 19-29.
- ③ 佐々木亘, 「永遠法と自然法—トマス・アクィナスにおける自然法の超越性について—」、『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第 39 号、査読無、2009 年 1 月、pp. 1-10.
- ④ 佐々木亘, 「対神徳の可能性—トマス・アクィナスにおける徳の区別について—」、『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第 39 号、査読無、2009 年 1 月、pp. 11-20.
- ⑤ 佐々木亘, 「幸福への問い—トマス・アクィナスの幸福論に関する一考察—」、『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第 40 号、査読無、2010 年 1 月、pp. 1-8.
- ⑥ 佐々木亘, 「自然法とは何か—トマス・アクィナスの自然法論に関する一考察—」、『鹿児島純心女子短期大学研究紀

要』第 40 号、査読無、2010 年 1 月、pp. 9-16.

[学会発表] (計 4 件)

- ① 佐々木亘, 「トマス・アクィナスの共同体の存在—自然法と正義をめぐって—」第 194 回京大中世哲学研究会、2007 年 6 月 30 日、京大会館.
- ② 佐々木亘, 「トマス・アクィナスにおける共同体論の可能性—『共同体と共同善』で問いかけるもの—」経済社会学会西部部会研究会、2008 年 12 月 6 日、神戸大学.
- ③ 佐々木亘, 「ペルソナと自然法—トマス・アクィナスにおけるペルソナの多元性をめぐって—」日本カトリック神学会第 21 回学術大会、2009 年 9 月 15 日、上智大学.
- ④ 佐々木亘, 「経済主体の多元性—トマス・アクィナスにおける宗教的超越性—」経済社会学会第 45 回全国大会、2009 年 9 月 26 日、龍谷大学.

[図書] (計 1 件)

佐々木亘, 知泉書館, 『共同体と共同善—トマス・アクィナスの共同体論研究—』, 2008 年, 286 頁.

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況 (計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]